

第9回 就学前施設における教育・保育と子育て支援計画  
(公立の認定こども園の整備) 市民説明会での質疑応答(概要)

日時 平成27年11月5日(木) 午後7時～9時  
会場 志紀中学校  
参加者 市民 33人  
こども未来部職員 6人  
教育委員会事務局職員 5人

Q1 この計画では、市の人口が今後も減少していくことを前提に策定されていますが、国では、2025年には出生率を1.8人に上げていくと言っていますし、市でも、今年度中に人口ビジョンを策定し、報告するとなっています。市として平成31年度の合計特殊出生率をどのように見込んでいるのですか。

八尾市の人口ビジョンとこの計画との整合性はどのようになっているのですか。総合戦略や人口ビジョンを見込んだ中で計画を策定するべきだと考えますが、その点について具体的数字を示して教えて下さい。説明会をいくら重ねても、前提条件が崩れれば、不安や疑問は無駄なものになりませんか。

施設整備についてですが、規模の大きな施設5つしかつからないのではなく、子育てしやすい環境は、小さな園が地域に点在していることが望ましいと思っています。現に存在している、公立の幼稚園、保育所は耐震補強も終わっています。その施設を活用するべきと考えますが、どのように考えていますか。

さらに、うわさによれば、新設する認定こども園のうち、(仮称)志紀認定こども園は、自衛隊敷地の近くと聞いています。就学前の子どもが生活する場所としては、騒音、危険性の面等、安定して健やかに過ごすことができるのか疑問に思いますが、どのように考えていますか。

A1 市としては、平成27年3月に策定された、子ども・子育て支援事業計画での数字を根拠に、この計画を策定しています。今後、市の人口ビジョンが策定され、必要と判断した場合は、施設数や幼稚園の継続について時点修正をしていきます。

公立幼稚園の休園につきましては、人口ビジョンとは関係なく、入園園児数で判断していくものです。また、施設の規模や園数についても、支援事業計画での数字や民間施設の整備数等を考慮したものです。

施設整備については、既存施設の活用をまず考え、既存施設の活用が不可能なところについては、新たに土地を購入し、認定こども園を建設していきます。就学前施設として、危険性、安全性には配慮していきます。

Q2 幼稚園の休園や廃園を含め、事業計画全体として、時点修正はどの年度で行うのか教えて下さい。

A2 平成28年度に時点修正による見直しを行っていきます。

Q3 認定こども園は、保育所、幼稚園の機能をあわせ持った良い施設であると説明されていますが、何が良いのかよく理解できません、多くの税金を投入して、子ども達の未来を実験しているような感じがします。

認定こども園になった民間施設でも、認定を返上した園も全国では多いと聞きました。民間の認定こども園では、幼稚園から変わった施設、保育所から変わった施設ともに、戸惑いがある

ると聞いています。こんな中で、民間と公立で連携して進めるこの計画には、無理がありませんか。

また、公立の認定こども園では、1号認定、2号認定の園児数の割合はどうなりますか。定員を超えての入所希望があれば、何を基準にして、1号、2号認定の園児を受け入れていくのか教えてほしいです。待機児童は出ませんね。

- A 3 認定こども園としては、現状のように、毎年、募集計画を作り、1号、2号認定などの募集を行っていきます。また、3歳児につきましては、2歳児から進級してくる園児も考慮して募集計画を立てていきます。

具体的には、(仮称)西郡認定こども園を除いて、3歳児 60人、4歳児 60人、5歳児 60人が定員です。その内訳は、それぞれ1号認定 30人を基本的な定員と考えていますが、その時点での、ニーズ量や進級園児数を考慮して募集をしていきます。

待機児童につきましては、待機児童 19人を含んで、申し込んだが保育所に入れなかった子どもは 138人です。待機児童は、特に0歳から2歳児に集中しています。現在、来年度の申込み受付を行っていますが、公立、民間施設を含んで待機児童が出ないよう人数を確保しています。

- Q 4 市として非常に練られた計画だと思っています。しかし、現に保育所に通園させている保護者として、子どもが転園することに不安があります。また、平成 31年度に公立認定こども園を5園にしていくことは大丈夫なのか懸念しています。その点について、教えてください。

- A 4 既存施設から認定こども園への転園につきましては、これまでにいただきましたご意見を踏まえ不安解消に努めていきます。

平成 31年度の開園は大丈夫かとのことですが、認定こども園は、現保育所、幼稚園で勤務している保育者がその経験を活かして保育、教育をしていきます。今までも、保育所、幼稚園の保育者が、教育・保育内容等について研修、研究を重ねていますが、今後さらに、深めていきます。

- Q 5 認定こども園では、1号認定の園児は、夏休みなどがあります。その間、2号認定の園児は登園しています。夏休み中は、新しいことはしないと聞いていますが、毎日同じ活動をして成長があるのか心配です。

また、行事についてですが、幼稚園での行事を実施されたら、働く保護者は参加するのが不可能です。行事など細かい部分まで十分考えているのですか。

- A 5 毎日同じ活動するとは考えていません。夏ならではの遊びを、家庭的な雰囲気の中で活動できるように工夫していきます。

行事につきましても、教育・保育目標を達成していくために、年間どのような行事が効果的なのか、幼稚園、保育所の保育者が研究、研修を重ねています。互いの行事のねらい、実施方法等を出し合い、また、互いの行事を体験しあい所属園所で伝え、研究し、その結果を持ちより研究しています。

平成 25年度より、幼稚園、保育所両方で実施している行事については、認定こども園においても実施する方向であり、他の行事については、具体的なねらいや目標を出し合い検討しています。行事実施にあたっては、保護者の方々に負担感が生じないよう実施方法を考えていきます。

Q 6 就労しています。今でも子どもにさみしい思いをさせており、申し訳ない気持ちです。1号認定の園児と一緒にすることで、早く帰る園児が出てきて、もっとさみしい思いをさせることになります。子ども同士で優劣する気持ちが生まれてくると思い、つらいです。大人の都合ではなく、もっと子どものことを考えて下さい。

A 6 お仕事をされていることは大事なことであり、子どものことを心配しないで、勤務してもらえよう後押しをしなくてはならないと考えています。先進園の見学などで学習したことをいかして、優劣ではなく、違いがあることに気づくような声掛けや環境作りをしていきます。大人の都合ではなく、子どものことを第一に考え、認定こども園の生活、活動を展開していきます。

Q 7 保育所へはいつ説明に来てくれますか。15回の説明で十分ですか。

A 7 各中学校区で1回で合計15回の説明会を実施しています。市としては、説明会の概要などを作成、ホームページだけではなく、紙媒体にしてお知らせしていきます。今後については、15回の説明会を終了した段階で、市で検討していきます。

Q 8 教育・保育の質が上がるといわれていますが、客観的データを示して教えてほしいです。また、この説明会で、どの程度、市民理解が進んだのか、市としての認識を教えてください。

A 8 数値化された客観的データはありません。市としては、幼稚園、保育所に勤務している保育者の経験や研究から、教育・保育の質は向上していくものと考えています。市民の方の理解についてですが、回を重ねていくにつれて、ご質問内容等からこの計画への理解は進んでいるものと認識しています。